

ご冥福を お祈りします



故 高宮時男議員

去る8月9日、故高宮時男議員（享年63歳）が急逝されました。

高宮議員は、平成16年1月から2年7か月にわたり、町議会議員として活躍されました。

在職中は、障害者の自立支援など、町の福祉政策の向上に取り組みましたほか、議会広報発行特別委員会の副委員長として、本誌の編集、発行にも携わり、住民の視点に立った議会だよりのあり方を追求されました。

9月定例会の初日には、黙とうが捧げられたほか、総務教民常任委員会の鳩岡明男委員長が、追悼演説を行いました。

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈りします。

公共施設を考える 3町の議員が研修

9月29日、岩手町、二戸町、葛巻町の議会議員が研修会を行いました。

研修会は、二戸町奥中山の県立児童館「いわて子ども森」で行われ、上外川の「森と風のがっこう」の代表でもある吉成信夫館長から、「魅力ある公共マネジメントを求めて」と題して講演いただきました。

平成15年に開館した「いわて子ども森」は、事業費約58億円をかけた大型児童館です。しかし「施設をどのように運営していくか」というコンセプトが不明瞭なまま、建物の建設だけが先行していました。

急きよ施設を任せられた吉成氏は、まるで学校か病院のような建物にとまどいつつも、「家庭でもない学校でもない、子どもたちの居場所」を目指し、子どもたちを迎え入れるために工夫を凝らしました。

コンクリートむき出しの柱には色鮮やかな布を巻き付け、館内を案内するコンピューターにはぬいぐるみ



公共施設のあり方を語る吉成氏

をかぶせるなど、ほぼ完成していた施設に様々なアイデアで手を加え、その結果、現在年間17万人もの人々に利用されています。

吉成氏は、「公共施設において、サービスの受け手は誰なのかを忘れてはならない。また、施設もそこで働くスタッフも、常にレベラアップしていかなければならない」と語りました。

次の定例会は
十二月中旬です。
皆さんの傍聴を
お待ちしております。

情報公開

議長が議会の対外的活動をするために要する経費を議長交際費といいます。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

7月	65,000円（誠心会納涼夏祭り ほか）
8月	42,000円（戦没者追悼式 ほか）
9月	66,000円（幼稚園運動会 ほか）

災害お見舞い

10月6日から続いた大雨による被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

住民の皆さんの冷静な行動と、消防団をはじめとする地域住民の自主的な防災活動や、避難所での炊き出しなど、積極的なご協力に感謝いたします。

議会は町と協力し、被災地の一刻も早い復興を県や国に働きかけるとともに、災害に強い町づくりに取り組みます。

葛巻町議会